

★実践事例【検証授業Ⅰ】

知立市立知立東小学校 3年

1 単元 商店のしごと

2 単元について

本学級の児童は、日本人13名、外国人6名の合計19名であり、中には日本語の能力が十分でない子もいる。とても明るく活発な児童が多く、言われたことには真面目に取り組もうとする学級である。

本単元では、学校から歩いて行けるスーパーマーケットAを取り上げる。このスーパーマーケットには全員が行ったことがあり、買い物の経験がある児童もおり、とても身近な存在である。しかし、スーパーマーケットに、家の人が行く訳や店で働いている人の工夫には、気付いていない児童が多い。また、商品の流通についてもほとんど知らないのが現状である。地域の販売の特色をつかむだけでなく、一人一人の児童が、自分の身の回りの消費生活に目を向け、消費者としての工夫を考えさせたり、店によって集客力や購買力を高めるために様々な工夫がされていることに気付かせたりするにはよい教材である。

本単元では、問題解決的な学習を初めて取り入れる。児童が学習問題を設定して、追究のために見学をしたり、調べたり、話し合ったりする。そして、学習問題を解決することは「おもしろい」「楽しい」と感じながら、社会的なものの考え方ができるようにしたい。特に、地域のスーパーマーケットを扱う授業では、「たくさんのお客さんがくる理由」を学習問題にして、児童なりの意見を出させたいと考えている。その中で、児童が学習問題に対して調べ、学級の中で考えを出し合いながら、更に考えを深めることができるようにしたい。

3 単元目標と評価規準

(1) 単元目標

地域には販売に携わる仕事があり、自分たちの生活を支えていることや、これらの仕事に見られる特色、他地域などとの関わりを理解するとともに、販売の仕事と自分たちの生活との関わりを考え、適切に表現する。

(2) 評価規準

	社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
評価規準	①販売の仕事の様子に関心を持ち、意欲的に調べている。 ②販売の仕事についての理解に基づいて自分たちの生活との関わりを考えようとしている。	①販売の仕事の様子について、学習問題や予想を考え、学習計画を立てて追究・解決している。 ②販売の仕事に携わる人々の工夫を消費者の工夫や自分たちの生活と関連付けて考え、適切に判断し、表現している。	①販売の仕事の様子について、見学や調査をして情報を収集し、販売者の工夫を読み取っている。 ②分かったことをグラフや絵地図、作品などにまとめている。	①消費者の工夫と関連付けて販売の仕事の特色が分かるとともに、他地域との関わりを理解している。 ②自分たちの住んでいる地域には、販売に関する仕事があり、それらは、自分たちの生活を支えていることを理解している。

4 単元計画と評価計画 (11 時間完了)

時	主な学習内容と学習活動	おおむね達成 (B)	十分達成 (A)
気付く (問題設定) 【一斉】 ①	○ 買い物調べをした結果をグラフにまとめて気付いたことを話し合い、学習問題を作る。① ・ 買い物をした店と行く理由をグラフにまとめる。 ・ グラフを見て気付いたことを話し合う。 A スーパーに行く人が多い。 安いから行く人が多いね。 近いから行く人が多いね。 チラシが入ってくるから。	関① 家の人の買い物に関心を持ち、買い物をした場所や行く理由を調べている。 思① グラフの結果から、行くお店や理由に目を向けて学習問題を考えている。	・ 家の人の買い物に関心を持ち、買い物をした場所や行く理由を具体的に調べている。 ・ グラフの結果から、行くお店や理由に目を向けて学習問題を考え、行く理由についての考えを広げている。
	(安いからや近いからの理由のほかに) どうしてこんなにたくさんの人がAスーパーに行くのだろうか。		
調べるⅠ (問題追究) 【一斉】 ② 計画③ 見学【個別】 ④ まとめ【一斉】 ⑤ 発表	○ スーパーマーケットの見学の計画を立てる。② ・ 店の様子 ・ 働く人の様子 ・ どうしてたくさんの人が来るのか。 * 見学に初めて行くので、「店の様子」と「働く人の様子」の大枠を与える。 ○ 見学や取材で調べたことをワークシートに書いて気付いたことについて話し合う。 ・ 店の様子 ・ 働く人の様子 (どうしてたくさんの人が来るのか) ③ 見学 ④ 見学のまとめ ⑤ 見学で見付けたことの発表	* 2回目の見学で見学の視点を見付けるようにする。 思① 学習計画の説明を受けて、見学の視点を意識して追究・解決しようとしている。 技① 見学の視点に基づいて店内や働く人の様子を観察したり、取材したりして調べ、情報を集めている。 * 「たくさんの人が来るのは、店の工夫にあることに気付いた」という児童の意見から、再度、見学に行き、「工夫」を探す調べ学習を行う。	・ 見学の視点を意識して、自分なりの視点でも、追究・解決しようとしている。 ・ 見学の視点に基づいて店内や働く人の様子を観察したり、取材したりして調べ、予想に適した情報を選択している。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">調べるⅡ (問題追究) 【一斉】 ⑥計画 ⑦見学 【個別】 ⑧まとめ 【一斉】 ⑨⑩発表</p>	<p>○ 2度目の見学で調べたスーパーマーケットの工夫について話し合う。</p> <p>⑥工夫を見付けるための計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店の工夫 ・働いている人の工夫 ・その他の見学の視点 <p>⑦見学</p> <p>⑧見学のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働いている人の工夫 ・お店の工夫 ・値札の工夫 ・並べ方の工夫 ・その他の工夫 <p>○ お店の「工夫」の発表 ⑨</p> <p>本時</p> <p>⑩ 他地域との関わり</p>	<p>思① スーパーマーケットの工夫について自分なりの見学の視点をもつことができる。</p> <p>技① 見学の視点に基づいてスーパーマーケット工夫を観察したり，取材したりして調べ，情報を集めている。</p> <p>思① スーパーマーケットの工夫について，いろいろな面から考えている。</p> <p>知② 商品を通して，販売の仕事は自分たちの生活や他地域と関わりをもっていることを理解している。</p> <p>関② スーパーマーケットの仕事と自分たちの生活との関わりを考えようとしている。</p> <p>技② 産地，スーパーマーケット，自分の順につながりを表している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットの工夫についての自分なりの見学の視点を持ち，友達の意見からさらに新しい見学の視点をもったり，自分の視点をさらに詳しく調べようとする視点をもったりすることができる。 ・見学の視点に基づいて店内や働く人の様子を観察したり，取材したりして調べ，予想に適した情報を選択している。 ・スーパーマーケットの工夫について，いろいろな面から考え，更にそれをお客の願いと結び付けて考えている。 ・販売の仕事と自分たちの生活や他地域との関わりによって販売の仕事や自分たちの生活が成り立つことが分かっている。 ・他地域で生産された品が販売の仕事によって自分たちの生活が成り立っていることについて考えようとしている。 ・産地・スーパーマーケット，自分の順につながりを表しその過程に輸送などとの関わりが表現できている。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">まとめる (問題解決) 【一斉】 ⑪</p>	<p>○スーパーマーケットにたくさんの方が来る理由を学習したことを基に発表することができる。⑪</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他地域や自分の生活との関わりを考え，スーパーマーケットはどんな仕事をするところか話し合う。 	<p>思② スーパーマーケットの工夫がお客の願いと結び付いていることを考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫がお客の願いと結び付いている理由を考え，販売の仕事の特色に気付いている。

5 本時の指導

(1) 目標

発表を通してとらえ直したお店の工夫について、自分の考えとして表現することができる。

(思考・判断・表現)

(2) 準備

教師 見学したときの写真、ワークシート

児童 発見した工夫カード

(3) 指導過程

時間	児童の活動	教師の活動 (・教師の支援 ◎発表の工夫及び支援)
2	1 本時の学習問題を知る。	・活動を思い出せるように見学のときの写真を提示する。
	Aスーパーはどんな工夫をしていたでしょう。	
28	2 見学で見付けた工夫を発表する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">働いている人の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・レジの人が、商品をつめるための袋を用意していた。 ・値札のシールを貼っていた。 ・お買い得のシールを貼っていた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">お店の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・避難経路が貼ってあった。 ・カートが用意してある。 ・いろいろな種類の商品を用意してあった。 ・店が開店すると冷蔵庫のところに掛けてあったビニールシートを取っていた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">ねふだの工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・色を分けて書いてあった。 ・値段が大きく書かれていていくらかすぐに分かる。 ・商品を使った献立が書いてあった。 ・どこから来たかを書いてあった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">並べ方の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・きれいに並んでいた。 ・お客が取りやすいように並べていた。 ・肉をななめに並べていた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">その他の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・仕入れの値段が安い時は、たくさん仕入れて安く売るようにしている。 ・いろいろの国や県から商品を仕入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発見した工夫カードの内容を発表するように声を掛ける。 ・児童が考えやすいように、分類して板書する。 ・友達の意見を聞くように声を掛ける。 <p>◎発表しやすいように話型を提示する。 ◎発表しやすいように、同じ意見や似ている意見から発表するように声を掛ける。 ◎自信がもてるようにうなずく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が発表したものが他の子に分かりにくい場合には、写真やイラストを提示して確認する。 ・見付けた工夫を発表する時に、その理由も発表するように声を掛ける。
15	3 学習の振り返りを書き、発表する。 お店の工夫について分かったこと、 どうして、工夫をしているのかを書く。 ・並べ方にも、お客さんのためにいろいろ工夫していることが分かった。 ・いろいろなところから、商品を仕入れている。 ・お客さんが望んでいることをお店は工夫している。	<p>(評価) 発表を通してとらえ直したスーパーマーケットの工夫について自分の考えを書くことができたか。 (思考・判断・表現)</p> <p>◎発表する意欲をもてるように、机間指導でよい内容に下線を付ける。</p>

店の様子

- ・何が売っているのか。
- ・食べ物以外には何が売っているのか。
- ・店の中の様子
- ・お客さんの様子
- ・音楽、ちらし

働いている人の様子

- ・何をしているのか。
- ・商品を出している人
- ・レジの人の仕事
- ・どんな仕事があるのか。

らい買っているのか」など、お客についての調査項目が多く出た。教師の意図する「店の様子」や「働いている人の様子」に目を向かせるため、二つの視点「店の様子」「働いている人の様子」を意図的に与えた。すると、児童は、店と働いている人を観察してくることを理解し、「店の様子」では、「何が売っているのか。店の中の様子はどんなか」、「働いている人の様子」では、「どんな仕事があるのか。レジの人の仕事はどんなことか」など、自分なりの観察の視点をもつことができた。

③「Aスーパーに見学に行ったよ」(写真3)

「店の様子」と「働いている人の様子」に注目させるために、開店の40分前に出掛けた。お客が来る前であったので、店の中を落ち着いて見ることができた。「店の様子」や「働いている人の様子」について意欲的に調べ、ワークシート(資料2)にメモをすることができた。

見学後、「なぜAスーパーにたくさんの人が買いに来るのか」と聞くと「チラシがあったからだと思う」「新鮮な野菜があるからだと思う」「洗剤やトイレトペーパーがあるからだと思う」などと見学で観察してきたことを理由に挙げる子どもが多かった。さらに、「温めるための電子レンジがあった」と、見てきたことを基に考えを広げている姿が見られた。

④「見学で見つけたものをまとめよう」(発表の準備)

見学ワークシートの中から、発表するものを選び、付箋紙に書かせた。その付箋紙を店内絵地図に貼ることで、発表しやすくなると考えたからである。みんなに知らせたいものを選んで用意することができた。

⑤「1回目の見学で見つけたものを発表しよう」

「店の様子」と「働いている人の様子」について見つけたものの発表をした(写真4)。

はじめに、店の様子について、「アイスクリームがあった」「さんまがあった」「洗剤があった」などの商品の発表が続いた。

次に、「電子レンジ」「地図」「冷蔵庫」「リサイクルボックス」などの商品以外に店にあったもの、さらに、「歌が流れていたこと」や「店内にタイムサービスと書いた紙があった」と次々と発表が続いた。

「働いている人の様子」では、「レジの練習をする人がいた」「お金を分けている人がいた」「電源を入れて、調

写真3 Aスーパーでの見学



資料2 買い物調べワークシート

3年 社会 「どうしてたくさんのお客さんが来るんだろう」

A スーパー 見学カード

3年 組 番 名前 ()

店の様子 どんなものが売っているかな。 売り物いいに何があるかな。	
はたらく人の様子 何をしているかな。	

写真4 Aスーパーでの見学についての発表



子を整理している人がいた」など、レジで働いている人に関連する意見が出された。次に、「値段を変えている人がいた」「割引シールを付けていた人がいた」、さらに「商品がつぶれないように並べている人がいた」や「店が始まってからも準備をする人がいた」などの気づきが発表できた。

付箋紙を使用したことで、一つの項目に関連した内容を発表でき、児童はととても意欲的であった。発表後、友達の意見を聞いて分かったことが増えたという感想が多かった。

そして、「どうしてAスーパーにたくさんのお客さんが来るのだろうか」と質問すると、「近い」「安い」「品数が多い」に加えて「看板がぶら下がっていたり、地図があつたりする」などの店の工夫についての気づきが増えていた。

児童の「電子レンジはお客さんが温めることができるように置いてあった」という気づきを取り上げ、「こういうのを店の工夫というのだよ」と説明すると、児童は『工夫』の意味を感じ取ることができた。そこで、「Aスーパーには、どんな工夫があるのかをもう一度見付けに行こう」と教師から提案すると、「行きたい」という歓声が上がった。

(3) 調べるⅡ (問題追究) 段階

⑥ 「Aスーパーの工夫を見付けに行こう」2回目の見学計画

2回目の見学で、店の工夫を見付けに行くための話し合いを行った(写真5)。

『工夫』として、「並べ方の工夫」「表示(値札)の工夫」「仕入れの工夫」「店の工夫(施設)」という視点を考えていた。児童の多くが、「店の工夫(施設)」には着目できたが、それ以外には目が向かなかつた。そのため、教師が見学の視点として、「並べ方の工夫」「表示(値札)の工夫」「店の工夫」の三つを挙げた。

その後、再度、ワークシート(資料3)に見学で何を見てく

るのかを書かせた。教師が「表示(値札)」と「並べ方」の工夫について視点を示したので、ほとんどの児童がワークシートにそれらの二点を「調べること」として挙げていた。【思①】

「値札のところに料理の作り方が書いてあったり、絵や写真で紹介してあったりするのを見てきたいです」や「商品の並べ方を調べたいです。〇〇君が言っていたリサイクルボックスも見てきたいと思いました」などと具体的な内容を計画する児童もいた。【思①】

⑦ 2回目の見学

一人一人の計画に従って、見学を行った。店内を観察したり、働いている人やお客に聞き取りをしたりした。商品の並べ方と施設の工夫について、児童は、とても意欲的に調べることができた。肉のコーナーを見

写真5 「くふう」見付けの見学計画



資料3 見学ワークシート

<p>Aスーパー 見学カード</p> <p>見学の2 お店のくふうを見付けよう!</p> <p>見学の計画を立てよう! ~何を見てみようかな?~</p> <p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>はたらく人の様子</p>		<p>3年 組 名前</p> <p>店の様子</p>
--	--	----------------------------

写真6 「工夫」探しの見学の様子



学していた一人が、肉のパックが斜め角度に陳列されていることに気付いた。そして、「どうして斜めに置いてあるのか」と働いている人に聞くと、「お客さんに、よく見えるようにだよ」と答えを得た（写真6）。また、飲み物コーナーでは、ペットボトルが逆さに置いてあったり、斜めに置いてあったりしたことに、

- ・はたらく人たちの工夫
- ・並べ方の工夫
- ・ねふだの工夫
- ・お店の工夫
- ・その他の工夫

工夫ではないかと気付く児童もいた。お買い得シールを見付け、『お買い得』の意味を聞く児童もいた。

事前の計画で、視点を明確にして自分の計画に合わせて調べた児童もいたが、「お店の工夫」と「並べ方」の工夫について調べている児童がほとんどであった。三年生の児童には、

その場で見るものが工夫としてとらえやすいようであった。特に、並べ方に注目する児童が多く、教師が着目させたかった「値札の工夫」については、漢字で表示してあり、内容を理解することができず、十分に着目できなかった。

⑧ 見学のまとめ

児童には、調べてきた工夫がうまく分類できずに、ワークシートに記入されていたので、教師が五つの観点に分けて、その観点到合わせて児童が発表できるように用紙に準備させた。また、工夫されていることが、お客の願いと結び付いていることにつながるように、「どうして工夫と言えるのか」についても発表できるようにした。すると、「並べ方の工夫」では、「お肉が斜めに並べてあった。理由は、お客さんが見やすくて買ってもらうため」や「違うものと混ざらないようにきれいに並べてあった。理由は、きれいだと取りやすいから」などと書くことができた（資料4）。

「店の工夫」では、「天井に看板がぶら下がっていた。理由は分かりやすくするため」や「冷蔵庫からビニールシートが垂れ下がっていた。理由は商品が傷付かないため」などとまとめることができた（資料5）。

⑨ 工夫についての発表

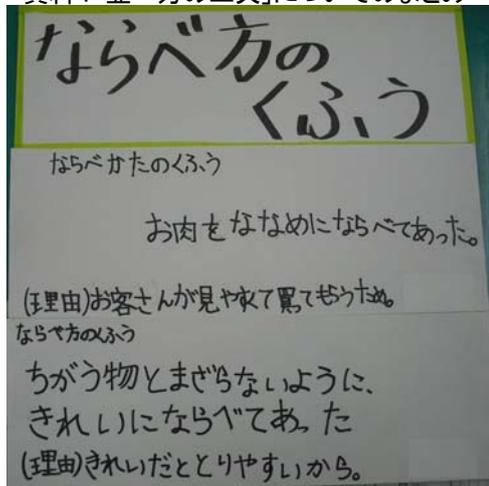
五つの視点到合わせて、児童は、「工夫」を発表していった（写真7）。

お店の工夫で見付けたことの発表は意欲的だったが、なぜ工夫されているかに関心を示す児童は少なかった。それは、まとめの段階の記述からも分かる。「お店の工夫で分かったこと・どうして工夫しているのか」について、「わたしは、お肉が斜めに並べてあったのを見付けました。お肉が斜めに並んでいたら取りやすいし、値段が見やすい」と自分の見付けた内容を深めたり、「〇〇君が見付けたシールの機械はすごい」「〇〇さんが言った、人気の食べ物には看板が付いていた」など友達の意見から新たな工夫に目を向けたりして書くことができた。しかし、なぜ工夫しているのかについてまで深く言及しているまとめは少なかった。

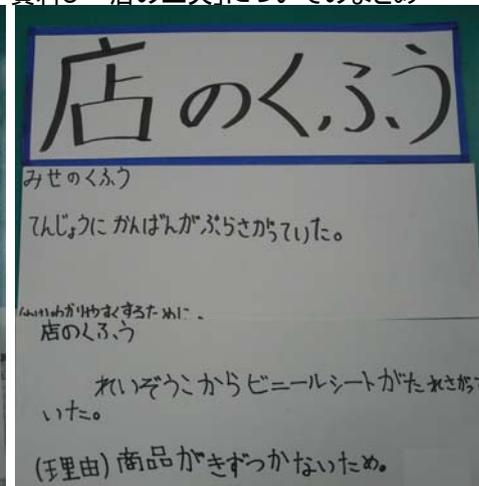
また、「ペットボトルがどうして逆さになっているのか知りたかったです」などの感想もあったが、工夫をしている理由についての理解が不十分で、お客の願いにまで結び付けられなかった。

そこで、再度「工夫」について目を向けさせ、お店の工夫が、お客のためやお客の願いのために行っていることだと確認することで、「お客さんが買いやすくするため」や「お客さんに喜んで買ってもらえるようにだ」など、「お客さんのための工夫」ということに目を向けることができた。【思②】

資料4「並べ方の工夫」についてのまとめ



資料5「店の工夫」についてのまとめ



お店の工夫

- ・ビニールシートが冷蔵庫にかぶせてあった。
- ・避難経路の案内図があった。
- ・ぶどうが袋に包んであった。
- ・リサイクルボックスがあった。
- ・うなぎがあるところに看板があった。
- ・人気の食べ物は、看板まであった。
- ・割引の値段があった。
- ・天井から看板がぶら下がっていた。
- ・天井から歌、それに声が聞こえてきた。
- ・商品や魚や肉やお菓子を安くしている。

写真7 工夫についての発表



並べ方の工夫

- ・ジュースが逆さに入っていた。
- ・とりやすく並んでいた。
- ・違う物と混ざらないようにしてあった。

- ・お肉が斜めに置いてあった。
- ・きれいに並べてあった。

値札の工夫

- ・お値打ち品と書いてあった。
- ・30%引きのものがレジの隣にあった。

- ・お買い得品と書いてあった。
- ・値札の色が三色で見やすい。

働いている人の工夫

- ・値段のシールを印刷している人がいた。
- ・朝、レジを掃除してお金を入れていた。
- ・安いときには、たまねぎを1500個仕入れて安く売り、高いときには、300個しか仕入れない。

- ・(その場で) 商品を注文していた。

その他の工夫

- ・他の国から来ているものもあった。
- ・いろいろな国からの魚があった。
- ・うなぎは、たれがついていたのに隣にたれまで売っていた。

(4) まとめる (問題解決) 段階

⑩ 学習のまとめをしよう

単元を通しての問題「どうしてAの店にたくさんのお客さんが来るのだろうか」について、学習したことを基に、意見を出し合った。

話し合いの中で、学習全体を振り返って問題の答えを出すよりもお店の工夫の「案内の看板が天井からぶら下がっているから」とか「ビンや肉を斜めに置いていたから」「いろいろな産地から仕入れて選びやすいようにしているから」などの工夫の一つ一つについて、発表する児童もいた。

全体的に見ると「安いし、近いし、お客さんのための工夫がたくさんあるから」という意見に集約され、その中でも「お客さんのための工夫があるから」という理由が多く出てきた。それは、店の工夫について、単元を通して着目させてきたからであると考えられる。児童の中には、学校の近くにある他の店と比較して、「Bの店よりも閉店する時間が遅いから夜仕事をして買い物をする人がいて便利」「Bの店にないものがあるから」と、単元終了時に改めて「工夫」と結び付けて多くのお客が店に来る理由として挙げる事ができた(資料6)。

資料6 見学のまとめワークシート

3年 社会 「どうして? スーパーにはたくさんのお客さんが来るんだろう」

見学のまとめ

3年 組 番 名前 ()

店の様子や はたらいっている人の様子を 発表し合って わかったこと・思ったこと

どうして **A** スーパーにはたくさんのお客さんが来るんだろう

7 単元中における「思考・判断・表現」の評価の判定基準及び評価

(N=19)

時	【思考・判断・表現】における判定基準と評価事例	判定人数		
		A	B	C
①	<p>買い物調べのグラフを見て気付いたことを話し合う。</p> <p>《B判定》グラフの結果から、行く店や理由に目を向けて学習問題を考えている。</p> <p>《A判定》グラフの結果から、行く店や理由に目を向けて学習問題を考え、理由についての考えを広げている。</p> <p>(例) B MやAのお店にたくさんの人が行くことが分かった。近くて安いというのが行く理由が多かった。</p> <p>A Mは、近いし安いから便利だと思った。Aは、8時までやっているし、食べ物以外にもいろんなものが買えるからいいと思った。</p>	3	15	1
⑥	<p>スーパーマーケットの見学の計画を立てる。</p> <p>《B判定》スーパーマーケットの工夫について見学の視点を意識している。</p> <p>《A判定》スーパーマーケットの工夫について見学の視点を持ち、友達の意見から更に新しい見学の視点をもったり、自分の視点を更に詳しく調べようとしたりする視点をもつことができる。</p> <p>(例) B 値札のところに料理の作り方が書いてあったり、絵や写真で紹介したりしてあるのを見てきたい。</p> <p>A 次の見学で商品の並べ方を調べたい。〇〇君が言っていたリサイクルボックスも見てきたいと思う。</p>	0	14	3
⑨	<p>スーパーマーケットの工夫について考える。</p> <p>《B判定》スーパーマーケットの工夫について、なぜ工夫になるのかを、自分が調べた内容をお客さんの願いと結びつけて考えている。</p> <p>《A判定》スーパーマーケットの工夫について、なぜ工夫になるのかを自分の調べたことだけでなく、友達の意見を参考にいろいろな面から考え、更にそれをお客の願いと結びつけて考えている。</p> <p>(例) B 肉が斜めに並べてあったのを見付けた。お肉が斜めに並んでいたら取りやすいし、値段が見やすいと思った。これは、お客さんに買ってもらえるようにだと思う。</p> <p>A 肉が斜めに置いてあるとか、混ざらないように置いてあるとかを見付けたけど、商品が取りやすく並んでいたという意見もあった。どうして工夫してあるかという、お客さんに喜んで買ってもらえるようにだと思う。</p> <p>スーパーマーケットにたくさんの人がくる理由を学習したことを基に発表する。</p>	3	10	6
⑪	<p>《B判定》スーパーマーケットにたくさんの人が来る理由について、スーパーマーケットの工夫などにあることに気付くことができる。</p> <p>《A判定》スーパーマーケットにたくさんの人が来る理由について、スーパーマーケットの工夫などにあることに気付き、お客の願いと結び付けていることを考えることができる。</p> <p>(例) B お客さんに聞いたら「近いし、安い」と言っていた。私は、たくさん工夫があるからだと思う。</p> <p>A 安いし近いし、お客さんのために商品を取りやすく並べてあったり、看板があって見やすくしたりして工夫がたくさんあるから。閉店する時間が遅いから夜仕事をして買い物をする人たちにとっても便利だからだと思う。</p>	6	10	3

※単元の評価計画における「思考・判断・表現」の評価について

☆指導に生かす評価・・・単元の途中である第1・6・9時の「思考・判断・表現」の評価は、その結果から次の学習につなげる助言を行ったり、達成できなかった子への支援策をとったりするための指導に生かした。

★記録に残す評価・・・第10時の「思考・判断・表現」の評価は、結果を記録に残した。

8 単元の定着度の評価

単元の終了の2か月後に、「商店のしごと」について、2問の定着テストを行った。予告なしで、教科書やワークシートも参考にせず、テストの時間は20分間とした。また、文章表現による記述式のテストで、使用させたい用語の提示も行わず実施した。

設問は、単元で学習した内容の中で、集客の理由と店の工夫について、消費者の立場と販売の立場からそれぞれの事柄と関連付けながら記述させるものである。これは、思考力・判断力・表現力が確実に身に付いているかを測定するテストである。3年生であることも考慮し、児童が分かったことや考えたことをそれぞれの事柄を比較、関連付けて短文で表現できていればよしとした。

設問① お客さんがたくさん店に来るわけについて、できるだけたくさん書きなさい。

★ 使用させたい用語

- ①安い ②近い ③新鮮 ④営業時間が長い ⑤品物が豊富 ⑥品物が選びやすい
⑦売り出しの広告 ⑧広い駐車場 ⑨リサイクルしやすい ⑩働いている人の工夫がある

★ 解答例

- (1) 安いから。
- (2) 新鮮だから。
- (3) 近くて便利だから。
- (4) 品物が多いから。
- (5) 広告があるから。
- (6) 広い駐車場だから。
- (7) 店が開いている時間が長いから。
- (8) 働いている人の工夫がたくさんあるから。

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問①における思考・判断・表現の段階	判定人数
A	お客が来るわけについて、用語の5点以上の理由を比較、関連付けて説明することができる。	1
B	お客が来るわけについて、用語の2～4点の理由を比較、関連付けて説明することができる。	16
C	お客が来るわけについて、用語の1点の理由を比較、関連付けて説明することができる。又は説明できない。	2

設問② スーパーマーケットのくふうについて、その理由もいっしょに書きなさい。

★ 使用させたい事柄・用語

- ①シール ②避難経路 ③カート ④ビニールシート ⑤値札の色 ⑥レシピの説明
⑦並べ方 ⑧産地名

★ 解答例

- (1) 店の工夫で、買ったものを温めることができるように電子レンジを置いてある。
- (2) 働いている人の工夫で、お買い得のシールを貼って、お客さんに分かりやすいようにしている。
- (3) 値札の工夫で、色を付けてお客さんに分かりやすいようにしている。
- (4) シールが貼ってあって、安い品物がお客さんに分かりやすい。
- (5) 避難経路が示されておりお客さんの安全を考えている。

- (6) 肉を斜めに並べて、見やすいようにしている。
- (7) いろいろな産地から仕入れて、選びやすいようにしている。
- (8) 売り場に置いてある食材を使ったレシピを紹介している。

★ 使用したルーブリックと判定結果

判定	設問②における思考・判断・表現の段階	判定人数
A	店の工夫について、用語の4～5点について比較、関連付けて説明できる。	10
B	店の工夫について、用語の2～3点について比較、関連付けて説明できる。	5
C	店の工夫について、用語の1点について比較、関連付けて説明できる。又は説明できない。	4

《総括評価の結果における考察》

- ・設問①は、「安い」「近い」「工夫がある」「広い駐車場がある」のうち、三つの項目を書いた児童がほとんどであり、学習で実感した内容が含まれていることが分かる。
- ・設問①の設問は、「なるべくたくさん」という言葉を使ったが、「五つ以上」と具体的な数字を示すと児童にとっては答えやすかったのではないかと考える。
- ・設問②は、授業の中で店の工夫していることについて、その理由も含めて学習したことが、きちんと知識として残っており、その知識を活用した論述をしていることが実証されたと考える。

9 成果と課題

(1) 成果

① 問題解決的な学習による意欲的な学習の取組

初めての問題解決的な学習であったが、単元を通して意欲的に学習できた。それは、導入の買い物調べが、身近なスーパーマーケットに対する興味につながったからである。そして「どうしてスーパーマーケットにたくさんのお客さんが来るのか」の問題は、教師が用意したものであったが、1時間目の買い物調べの授業の流れの中で自分たちの問題としてスムーズに意識することができた。

その後、「1回目の見学→まとめ→発表→2回目の見学→まとめ→発表→全体のまとめ」と学習が進めたが、1回目の見学から発表に至る学習の経験をしたので、2回目の見学では、何をしていくのかの見通しがもて、さらに、2回目の見学の「お店の工夫探し」では、1回目の見学が活かされ、観察する眼も育ってきたので、最後まで意欲的に学習に取り組むことができた。

② 指導に生かすことができる評価へ

「社会的事象（学習問題）についての思考・判断・表現」を評価するのに、本単元では、四つの段階で評価をしたが、段階を経るにしたがって、児童がどこまで規準が達成されているかについて、教師が把握することができ、次の時間の指導に生かすことができた。

③ 体験的な学習による知識の定着及び説明

着目させる「店の工夫」について、話し合って見学の計画を立て、焦点を絞って見学や聞き取り調査をする学習を通して、確実な知識を獲得することができた。また、2か月後に実施した定着テストでは、体験的な学習や友達との協同学習で得た知識を比較、関連付けてスーパーマーケットの工夫を説明することができていることが分かった。

(2) 課題

① 表現活動における記述の仕方の工夫

「思考・判断・表現」の評価について、単元の四場面で評価をした。その時に、「分かったことや思ったこと」などを書かせたが、教師の意図するような文を書ける子どもが少なかったため、3年生段階では、例えば「お店のどんな工夫がありましたか」とか「その工夫はどうしてあるのですか」と

か、実際に発問を書いて答える形にしたり，例文を示したりするなどの工夫が必要であると考える。

② 記録に残す評価の方法

評価については，学習途中でどの段階までできているのかを把握するのは大事であるが，特に「思考・判断・表現」の観点では，本研究の試行として，学習の最後に達成できればよいのではないかと考える。

例えば，本単元では，単元後に書かせた「スーパーマーケットへのお礼の手紙」（資料7）の中に，学習の振り返りが見られるので，ここで評価する方法もよいと考える。

③ 学習内容と評価の見直しの必要性

スーパーマーケットにたくさんの人が来る理由について，スーパーマーケットの工夫にあることに気付くことができたが，工夫がお客様の願いと結び付いていることについては，授業の中で押さえたにもかかわらず，まとめの記述にはほとんどなかった。さらに，販売の仕事の特色や自分たちの生活が支えられていることについての感想がなかったのは，学習内容や評価の仕方に問題がある。

④ 判定基準の提示の必要性

児童の主体的な学習のためには，どこまでできれば，A判定，B判定になるかを知らせていく必要がある。

⑤ 学年の段階による学習の視点や観点の与え方

3年生の段階では，見学の視点やまとめる観点を，初めから教師が与えていくとよい。

資料7 見学のお礼の手紙

